

中部の国有林

令和2年度 中部森林管理局の取組



鍋倉山のブナの芽吹き (北信署 (長野県))



つけちきょう
初夏の付知峡・高樽の滝 (東濃署 (岐阜県))



みだがはら
秋の弥陀ヶ原 (富山署 (富山県))



だんどこ
冬の段戸湖 (愛知所 (愛知県))

林野庁
中部森林管理局

CHUBU Regional Forest Office, Forestry Agency

目 次

I 概要

1 中部森林管理局について

(1) 沿革	1
(2) 組織	2
(3) 管内図	3
(4) 森林面積	4
(5) 木材を利用した庁舎や内装	5

2 令和2年度の取組のポイント

(1) 主要事業量	6
(2) 重要な取組や新たな試み	6

II 業務内容

1 公益的機能の一層の発揮

(1) 国有林の森林の区分	8
(2) 多様な森林への誘導	9
(3) 安全・安心への貢献	10
(4) 優れた自然環境の維持・保存	12
(5) ニホンジカ被害対策	14

2 林業の成長産業化への貢献

(1) 徹底的なコスト縮減と生産性向上	15
(2) 木材の安定供給とブランド材の推進	16
(3) 民有林と連携した取組	17

3 「国民の森林」としての管理経営

(1) 双方向の情報受発信	18
(2) 森林環境教育の推進	18
(3) 国民参加の森林づくり	19
(4) レクリエーションの森	20
(5) 管内の百名山と主な山並み	22
(6) 管内の巨木	24

参考資料

・ 富山県の国有林	25
・ 長野県の国有林	26
・ 岐阜県の国有林	27
・ 愛知県の国有林	28

I 概要

1 中部森林管理局について

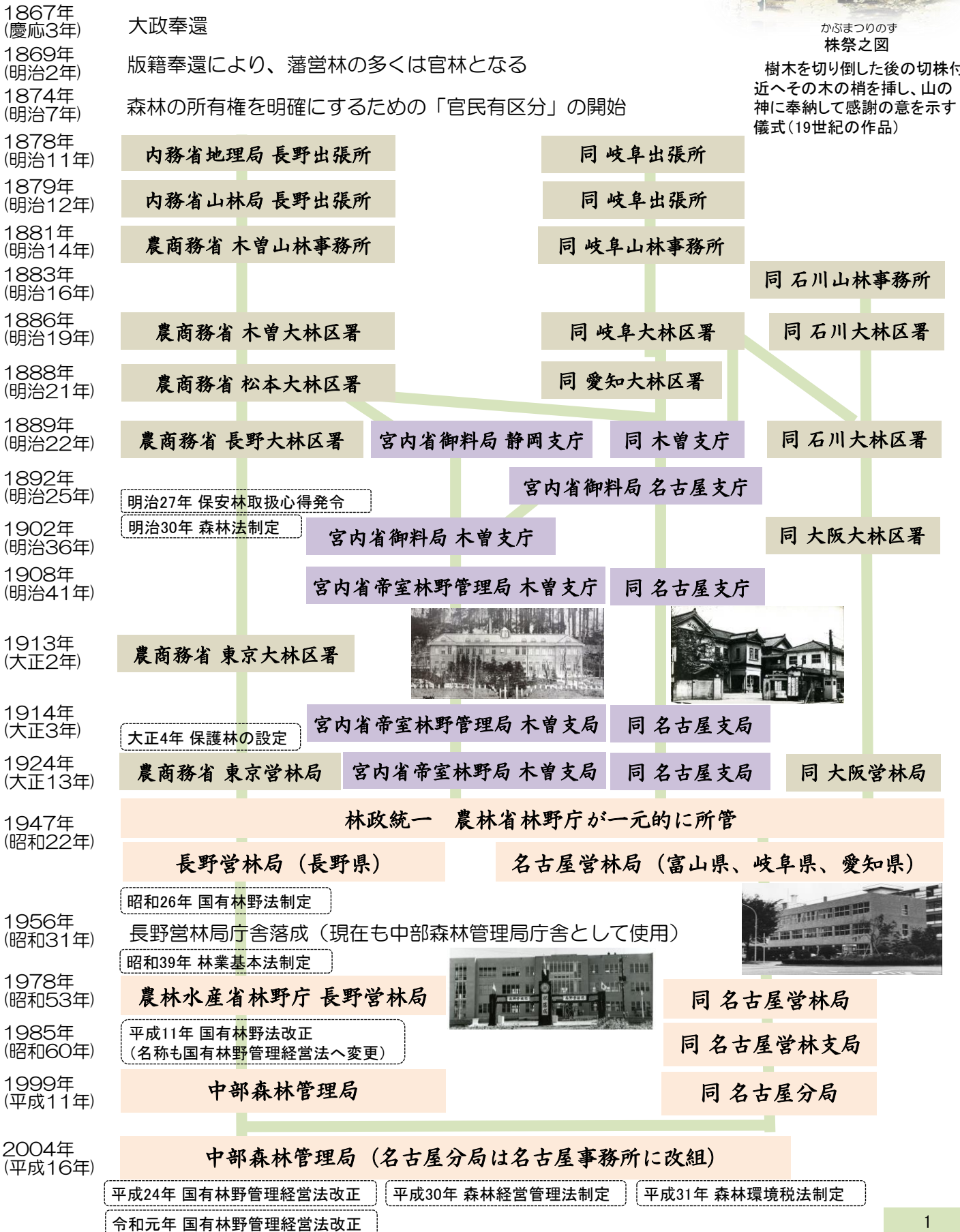
(1) 沿革

江戸時代の日本の森林の利用形態は、藩営林、農用入会林、部分林、私営林に大別することができますが、各藩の領主の権力によってその内容には大きな差がありました。日本三大美林の一つである木曾ヒノキは、尾張藩による厳格な管理がされた後、現在に至っています。国有林による森林づくりと木づかいの歴史は一世紀半に及びます。

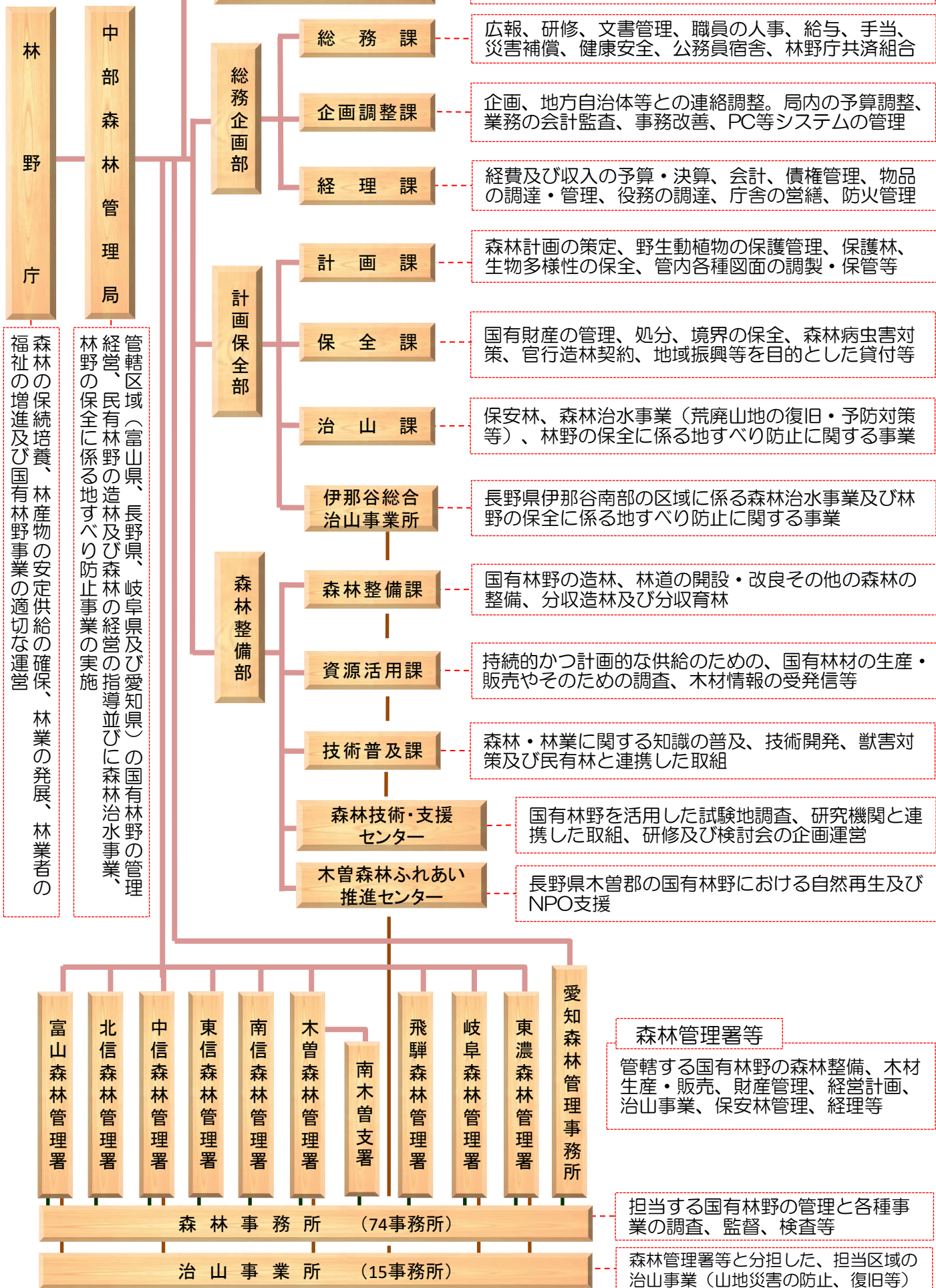


かぶまつりのす
株祭之図

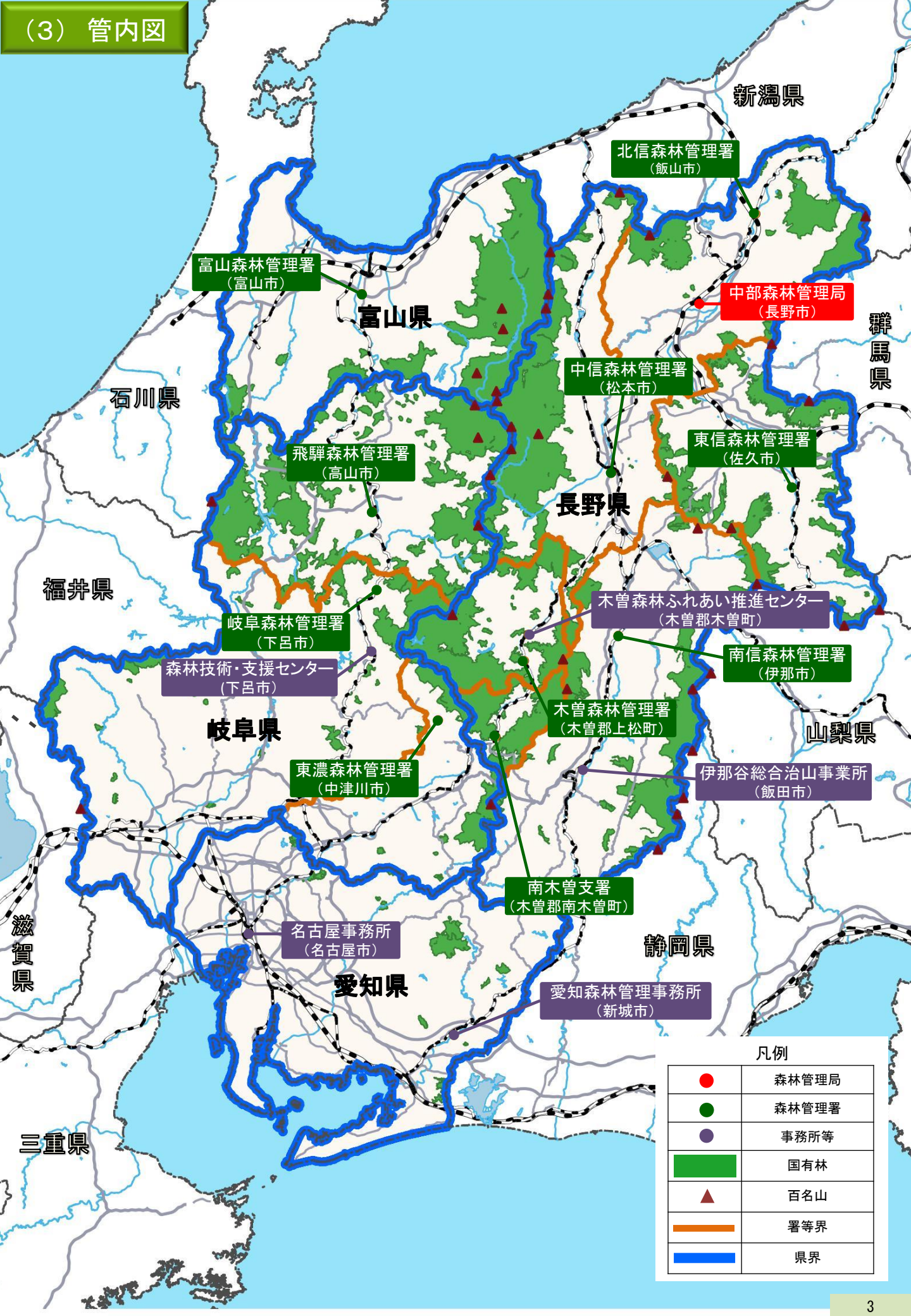
樹木を切り倒した後の切株付近へその木の梢を挿し、山の神に奉納して感謝の意を示す儀式(19世紀の作品)



(2) 組織



(3) 管内図



凡例

●	森林管理局
●	森林管理署
●	事務所等
	国有林
▲	百名山
	署等界
	県界

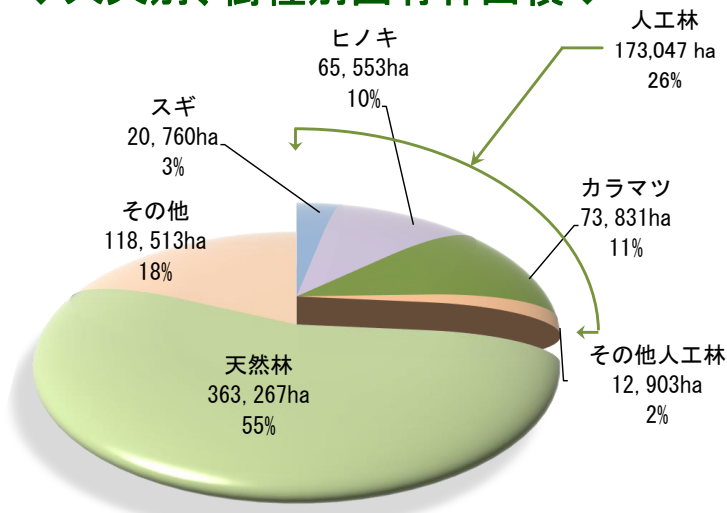
(4) 森林面積

◇4県別の国有林面積◇

県	県土面積 (万ha)	国有林面積 (万ha)	県土比率 (%)
富山	42	10	24
長野	136	37	27
岐阜	106	17	16
愛知	52	1	2
計	336	65	19

※管内4県の県土面積の約2割が国有林です。

◇人天別、樹種別国有林面積◇



国有林面積: 654,828 ha

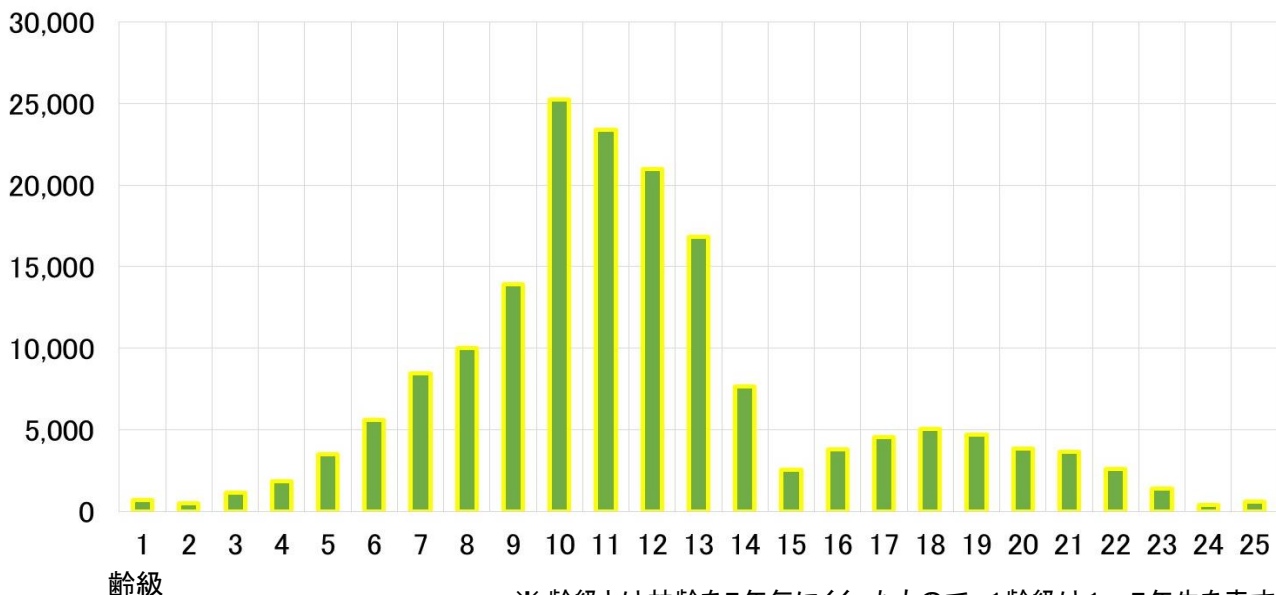
(令和2年4月1日現在)

小数点以下四捨五入により合計
が合わない場合があります。

中部森林管理局の国有林は、約半分がナラ類、カンバ類、ブナ科などの広葉樹やモミ、ツガの針葉樹からなる天然林、約3割がヒノキ、カラマツなどの人工林、残る2割は高山帯の岩石地などで占められています。

◇人工林齢級別面積◇

単位: ha



※ 齢級とは林齢を5年毎にくったもので、1齢級は1～5年生を表す。

人工林は、10～12 齢級(46～60年生)の林分が主体となっており、健全で活力ある森林の育成や二酸化炭素吸収による地球温暖化防止のため、間伐などの森林整備を積極的に進めています。また、16齢級(80年生)以上の林分から、高齢級で高品質なブランド材を供給しています。

(5) 木材を活用した庁舎や内装

ア 庁舎

庁舎の建築や改修に当たっては、地域の木材を積極的に利用して、木材のPRに努めています。



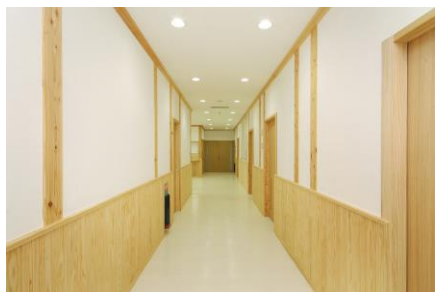
南木曾支署(新築)



東信森林管理署(改修)

イ 内装やオフィス家具

内装やオフィス家具などでも木材利用を進めています。



岐阜森林管理署(内装)



中部森林管理局(オフィス家具)

ウ 暖房設備

木質バイオマスエネルギー利用を進めるため、ペレットストーブやペレットボイラーを導入しています。



富山森林管理署(ペレットストーブ)



南木曾支署(ペレットボイラー)

エ その他

間伐材チップを活用したコピー用紙、封筒等の調達や、「脱プラスチックは会議のお茶から」として、カートカン(カップやストロー無しでも飲める紙製飲料缶。国産材チップを活用)の調達等も進めています。



コピー用紙



封筒



カートカン

2 令和2年度の取組のポイント

(1) 主要事業量

事業量(県別)

		単位	富山県	長野県	岐阜県	愛知県	合計
保 育	新植、植付	ha	-	202	81	25	309
	下刈、つる切等	ha	-	594	243	82	919
	間 伐	ha	38	2,364	1,019	269	3,691
収穫量	主 伐	千m ³	0.1	149	153	35	336
	間 伐	千m ³	6	390	222	40	659
	計	千m ³	7	539	375	74	995
製品生産量		千m ³	2	184	70	20	275
立木販売		千m ³	0.9	159	190	32	381
林道事業	新設	km	0.5	6.6	1.8	0.7	9.6
治山事業	溪間工	基	3	71	21	7	103
	山腹工	ha	2	33	8	0.1	43
	地すべり防止工	ha	-	196	-	-	196

※ 事業量は、項目毎小数点以下四捨五入により、計が合わない場合があります。

※ 立木販売には分収育林及び分収造林を含んでおり、分収契約者の意向等により変更する場合があります。

(2) 重要な取組や新たな試み

ア 公益的機能の一層の発揮

◇多様な森林への誘導◇

- ・主伐時の有用広葉樹の保残等により、針広混交林等の多様な森林づくりを推進します。



広葉樹の保残

◇安全・安心への貢献◇

- ・令和元年東日本台風(台風第19号)により被災した森林の緊急的な整備を実施します。また、「国土強靱化緊急森林対策」への取組として、集中豪雨等に対する山地防災力を高めるため、治山施設の設置等による荒廃山地の復旧・予防対策、流木対策を集中的に実施します。
- ・大規模な山地災害が発生した際は、国有林の有無にかかわらず、県や市町村等とのヘリコプターでの合同調査や森林土木技術者の派遣等により、被災地の早期復旧に向けた支援を行います。



ヘリコプターによる被災状況調査

◇ニホンジカ被害対策◇

- ・くくりワナの貸し出しによる捕獲圧の強化や、平成30年度から試行してきた請負事業体と猟友会が連携した「ついで見回り・通報」「ついで捕獲」を本格実施し、地域ぐるみのニホンジカ対策を推進します。
- ・ワナ捕獲遠距離通報システムなど、ICTを活用したワナ見回りの効率化に取り組みます。



請負事業体職員による
猟友会員の案内(南信署)

イ 林業の成長産業化への貢献

◇徹底的なコスト縮減と生産性向上◇

- ・平成27年度から取り組んできた「生産性向上実現プログラム」の成果を管内の林業事業体に普及し、素材生産能力の高い事業体の育成に取り組めます。
- ・伐採・造林一貫作業システムや、主伐時に発生する末木枝条等の木質バイオマス発電所等への販売、機械地拵えにより、造林にかかるコストの縮減に取り組めます。
- ・ドローン、地上型レーザースキャナ、デジタルレーザーコンパス、デジカメ検知システムといった新たな機器を試行的に活用し、事業実施に必要な各種調査(収穫調査等)の効率化を推進します。



ドローンの活用

◇木材の安定供給とブランド材の推進◇

- ・高齢級で高品質な人工林ヒノキを「まるこうまるこく高(国)木曾ひのき」、「まるこうまるこく高(国)東濃ひのき」や「段戸SAN」として、また、民有林と連携して「信州プレミアムカラマツ」を積極的に供給します。
- ・需要者の要望に応じた特殊な寸法や品質の木材供給に取り組めます。



「高(国)木曾ひのき」

◇民有林と連携した取組◇

- ・昨年度より始まった「森林経営管理制度」の推進に向け、市町村で活躍できる「意欲と能力のある林業経営者」の育成に取り組めます。森林施業共同団地の設定や民有林材との協調出荷、現地検討会の開催等による民有林関係者への技術の普及や、自治体への助言等に取り組めます。
- ・また、国有林の一定区域において、公益的機能を確保しつつ、一定期間・安定的に樹木を採取できる権利を「意欲と能力のある林業経営者」に設定する「樹木採取権制度」の実施に取り組めます。



デザインコンペ展示会
(MIDORI長野りんごのひろば)

ウ 「国民の森林」としての管理経営

◇国民参加の森林づくり◇

- ・天皇陛下御即位記念慶祝行事の一環である分収造林契約による森林づくり等に、企業やNPO等と取り組めます。



分収造林を契約した企業の社員による植樹イベント(東信署)

◇レクリエーションの森◇

- ・「国有林おさんぽMAP」の活用等により、国有林を通じた地域の観光振興に取り組めます。

◇地域住民等への情報の提供◇

- ・地域住民の方々に国有林をより身近に感じてもらうための取組として、各署等において国有林の各種事業の現地見学会を開催します。



生産事業の現地見学会(東濃署)

Ⅱ 業務内容

1 公益的機能の一層の発揮

(1) 国有林の森林の区分

国有林では重視すべき機能に応じて森林を5タイプに区分し、公益性を発揮するための管理経営を行っています。

中部森林管理局管内は、その多くが急峻な脊梁山脈地帯であるため、山地災害防止タイプが約4割を占めています。

山地災害防止タイプ	土砂の流出・崩壊、雪崩、落石等の山地災害による人命・施設の被害の防止など、安全な国民生活を確保することを重視して森林を守り育てます。
自然維持タイプ	原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存など貴重な自然環境の保全を重視して森林を守り育てます。
森林空間利用タイプ	スポーツ又はレクリエーション、教養文化、休養等の活動の場や優れた景観の提供並びに都市及びその周辺の風致の維持を重視して森林を守り育てます。
快適環境形成タイプ	騒音の低減、大気の浄化、木陰の提供等による気象の緩和等人間の居住環境を良好な状態に保全することを重視して森林を守り育てます。
水源涵養 ^{かん} タイプ	水源 ^{かん} の涵養などの公益的機能に配慮しながら、森林資源の有効活用も考慮した森林を守り育てます。

山地災害防止タイプ



(北信署管内: 赤石澤国有林)

水源涵養^{かん}タイプ

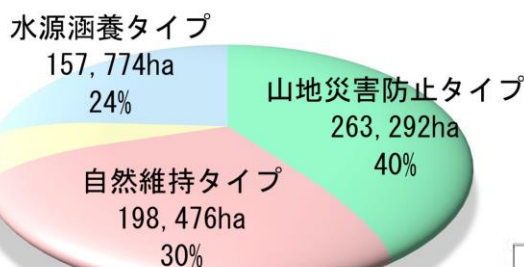
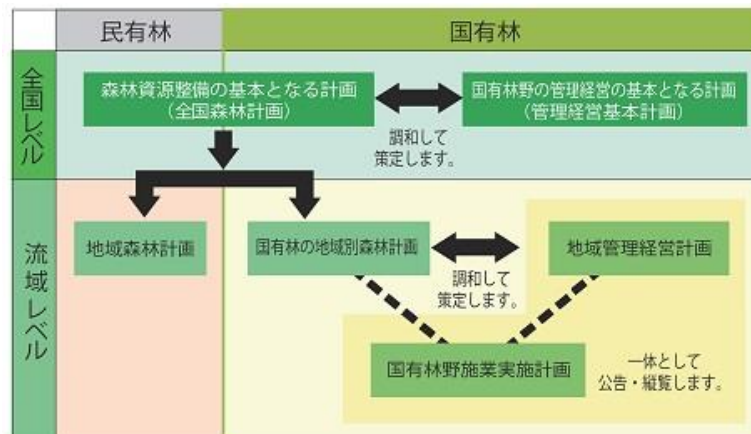


(東信署管内: 南相木山国有林)

◇機能類型別面積◇

◇国有林の計画体系◇

国民の大切な森林を管理するために、地域ごとに森林整備に関する基本的な事項を示す「国有林の地域別の森林計画(計画期間:10年)」や管理経営に関する基本的な事項を示す「地域管理経営計画(計画期間:5年)」などを定めて、計画的な管理経営を行っています。



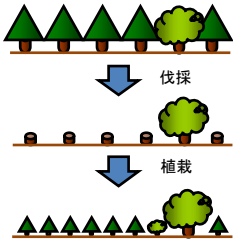
国有林面積
654,831ha (令和2年4月1日現在)

※ 小数点以下四捨五入により合計が合わない場合があります。

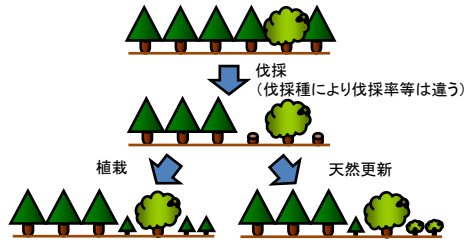
(2) 多様な森林への誘導

森林における生物多様性の保全など、森林の持つ公益的機能の一層の発揮を図るため、様々な生育段階や樹種で構成される針広混交林等の多様な森林へ誘導する森林施業を推進します。

育成単層林の場合



育成複層林の場合



林内又は周辺に高木性有用広葉樹や天然生稚幼樹がある場合には、伐採時に保残し育成することにより、段階的に針広混交の育成複層林への誘導を図ります。

目指す森林の状態



植栽や自然落下又は飛来する種子の発芽、生育によって、複数の樹冠層を成立させ、維持していきます。



針広混交林のイメージ

★ 山をよく見、山とよく相談しながら、山に応じた森林施業を行います。

～～多様な森林への誘導事例～～

○ 主伐時の有用広葉樹の保残

ヒノキ人工林の主伐箇所において、天然力の活用による針広混交林(針葉樹と広葉樹が混交した林)への誘導を目指し有用広葉樹を保残した事例

(南信署管内 東俣国有林)



○ スギ人工林内における針広混交林化

スギ人工林内に侵入したウダイカンバ等の密度管理を行い、針広混交林への誘導を図っている事例

(富山署管内 長棟国有林)



○ 除伐時の有用広葉樹の保残

ヒノキ造林地の除伐で有用広葉樹を保残し、針広混交林の保残を行っている事例

(岐阜署管内 本洞国有林)

◇災害発生時の迅速な対応◇

災害発生時は、地方自治体など関係機関と連携した被災状況の調査や復旧対策の実施など、迅速な災害対応に努めています。

飯山市山腹崩落への対応



山腹崩壊(源頭部)の状況

平成29年5月、長野県飯山市井出川上流部の森林において、雪溶け水によって地盤が緩んでいた山の中腹に崩壊が発生し、土石流(濁水)となって千曲川本流まで流出しました。

当局では、飯山市からの要請を受け、現地は民有林のみでしたが、民国連携の観点から、県、市、専門家とヘリコプターによる被災状況の合同調査を実施しました。



千曲川本流(濁水)の状況



上空からの合同調査を終えた飯山市長

令和元年東日本台風等への対応

令和元年東日本台風(台風19号)により、長野県の北信・東信地方を中心に甚大な被害が発生しました。

当局では台風通過後速やかに、長野県とも連携しながら、ヘリコプターによる調査をはじめ被害状況の把握に努めるとともに、災害復旧計画を作成しました。被災地の国の機関として、長野県、関係自治体をはじめ様々な機関と連携しつつ、地域の早期復旧に向けて全力で取り組んでまいります。



ヘリに搭乗する職員

令和元年台風19号による林地被害状況等のヘリ調査について【10月17日、21日分】

1. 調査実施日 : 令和元年10月17日(木) (計2回のフライトを実施) 調査場所 : 中部森林管理事務所森林管理管内
: 令和元年10月21日(月) (1回のフライトを実施)

2. 調査機材 : 中部森林管理庁

3. 調査対象 : 中部森林管理庁、長野県

4. 調査結果 : 本県から調査対象となる被災地、今回の台風によるおられる被災地は確認されました。
また、一部では土石流が発生し、崖崩れ(崖脚)への土砂流入が確認されました。

5. その他 : 今後、国土交通省の国土調査局より10月21日現在までの被災地のヘリ調査結果を改めて調査する予定。

ヘリ調査結果の公表状況(国有林・民有林)



角間山国有林の状況(長野県上田市)

◇民有林直轄治山事業の実施◇

民有林直轄治山事業は、国土の保全上特に重要であると認められ、事業の規模が著しく大であるとき、事業が高度の技術を必要とするとき、又は事業の利害関係が一都道府県にとどまらないときに、都道府県の要請を受けて、国が民有林において実施します。

中部森林管理局管内においては、常願寺川地区(富山県)、小渋川・松川入・姫川地区(長野県、新潟県)、板取川地区(岐阜県)の民有林において実施しています。

【実施事例】板取川地区(岐阜県)

本地区は、岐阜県関市の長良川支流板取川上流部に位置し、急峻な地形と地質的に断層破砕作用の影響を受けた脆弱な花崗岩地帯にあります。平成14年7月の台風6号の影響を受けて新たな大規模崩壊地の発生と拡大崩壊を引き起こし、平成16年度から民有林直轄治山事業を実施しています。

そして、平成30年7月豪雨により、本地区の東側に隣接する滝波谷区域で大規模な山腹崩壊と土石流が発生したため、岐阜県・関市の要請を受け、令和元年度に事業地区を滝波谷区域まで拡大し、早期復旧に向けて事業を実施してまいります。



滝波谷区域の山腹崩壊状況(岐阜県関市)



板取川地区事業説明会(主催:関市)

◇暮らしを守る保安林◇

私たちの暮らしを守る役割を果たしている森林を「保安林」として指定し、森林の持つ水源の涵養や山地災害の防止などの機能が失われないように伐採を規制したり、適切に手を加えるなど、期待される森林の機能を維持できるよう必要な管理を行っています。

中部森林管理局管内の国有林の96%が保安林に指定されています。



岐阜市金華山国有林(土砂流出防備保安林)
(岐阜署)



設楽町段戸国有林(水源かん養保安林)
(愛知所)

(4) 優れた自然環境の維持・保存

◇保護林◇

保護林制度は、学術の参考、風致の維持、高山植物保存等に資する国有林を保護するために、大正4年(1915年)に国有林独自の制度として制定されました。

国有林野事業では、こうした原生的な天然林などを保護・管理することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術の研究等に資することを目的として「保護林」を設定しています。

【86箇所 計112,250 ha (令和2年4月1日現在)】

森林生態系保護地域

それぞれの地域の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林を保護・管理
【5箇所 計30,354 ha】



さぶりゆうやま
【佐武流山周辺森林生態系保護地域】



かなぎどがわ
【北アルプス(金木戸川・高瀬川源流部)森林生態系保護地域】



日本海側と太平洋側を結ぶ様々な植生分布

北アルプスを代表する原生的で多様な天然林

生物群集保護林

地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理 【25箇所 計77,420 ha】



【戸隠山生物群集保護林】



のうごうはくさん
【能郷白山ブナ生物群集保護林】



天然林や人工林、湿原など多様な自然環境及び多種多様な野鳥が生息

日本海型の原生的ブナ群落

希少個体群保護林

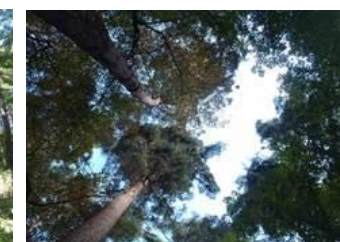
希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を保護・管理
【56箇所 計4,476 ha】



【タテヤマスギ遺伝資源希少個体群保護林】



きりうえ
【浅間山霧上の松希少個体群保護林】



タテヤマスギが群生する原生林

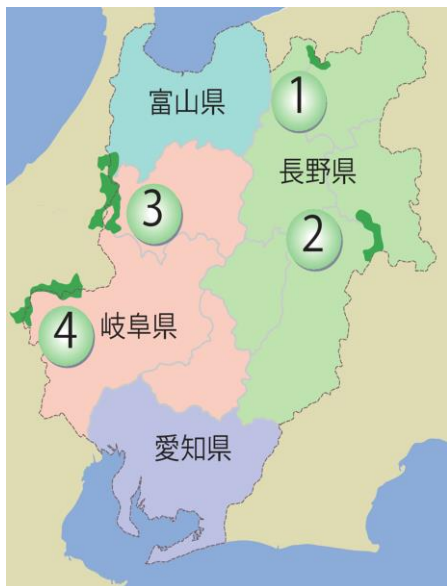
学術的に重要な浅間山麓の天然アカマツ林

◇緑の回廊 [コリドー]◇

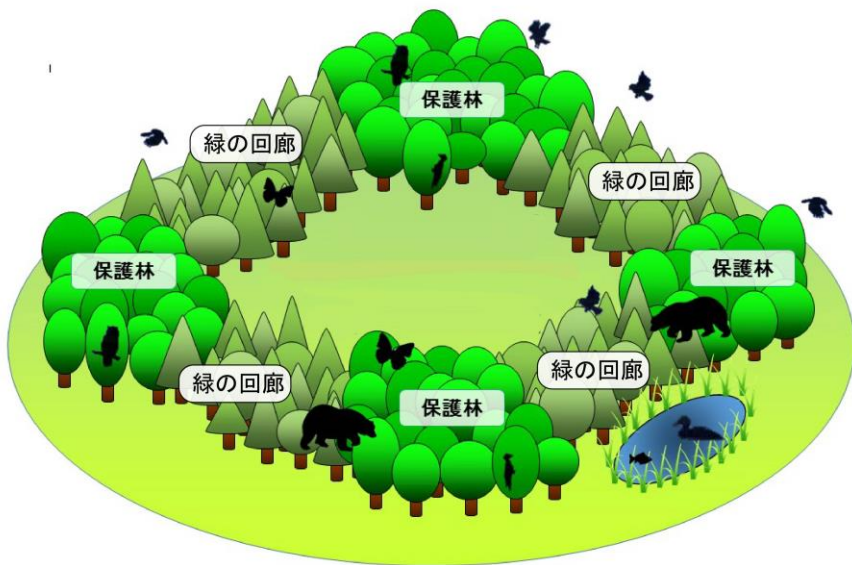
森林生態系の構成者である野生生物の多様性の保全には、その移動経路を確保し、生育・生息地の拡大と相互交流を促すことが必要とされています。

中部森林管理局では、保護林を中心にネットワークを形成する「緑の回廊」を設定し、様々な野生生物の生育・生息地を結び、貴重な森林生態系を守るための取組を進めています。

管内には、①緑の回廊雨飾・戸隠(3,792ha)、②緑の回廊八ヶ岳(5,835ha)、③白山山系緑の回廊(23,517ha)、④越美山地緑の回廊(7,260ha)の4箇所(合計40,404ha)を設定しています。



＜緑の回廊位置図＞



緑の回廊[コリドー]
＜イメージ図＞

◇木曽悠久の森の取組◇

世界的にも希少で貴重な、木曽地方の天然のヒノキやサワラ等を構成樹種とする、温帯性針葉樹林を守り育てていく取組を進めています。

中部森林管理局では、木曽地方の約1万7千haを「生物多様性復元地域」(愛称:「木曽悠久の森」)として設定し、天然林の保存、人工林から天然林への復元などに取り組んでいます。

現在

将来



(5) ニホンジカ被害対策

◇守りの対策◇

ニホンジカによる森林被害に対処するため、守り(防護)の対策として、造林地の植栽木や高山植物等を保護する防護柵を設置しています。



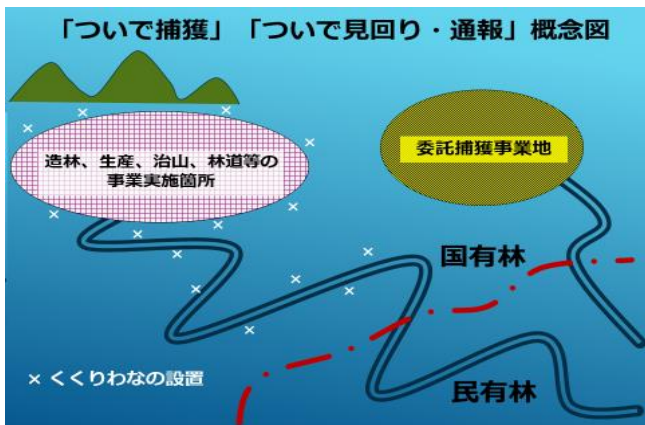
立木を支柱として利用した低コストな防護柵
(東濃署)



ボランティアの協力による防護柵の設置
(南アルプス仙丈ヶ岳 標高2,600m付近)

◇攻めの対策◇

攻め(捕獲)の対策として、ニホンジカを効率的に捕獲するための生息調査、市町村等へのくくりワナの貸出、委託捕獲等を各地の協議会と連携して実施するほか、請負事業者等と猟友会が連携してくくりワナを用いる「ついで捕獲」や「ついで見回り・通報」を行うなど地域ぐるみの取組を行っています。また、ICTを活用した捕獲やクマの錯誤捕獲防止ワナ等の開発・普及など、新たな捕獲方法にも取り組んでいます。

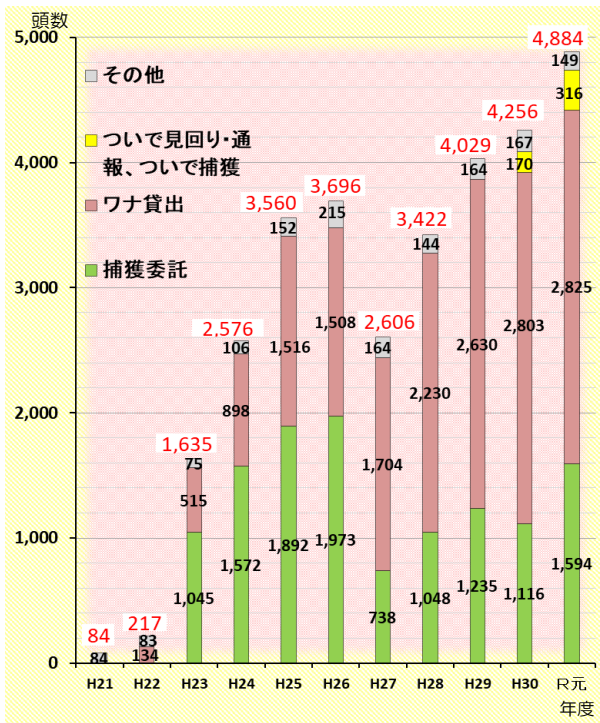


「ついで捕獲」「ついで見回り・通報」の概念図



捕獲したシカの動きをセンサーが検知。基地局を経由して携帯電話に「Catch」を表示。

中部森林管理局が実施したニホンジカの捕獲頭数



2 林業の成長産業化への貢献

(1) 徹底的なコスト縮減と生産性向上

◇徹底的なコスト縮減◇

伐採から造林までを一体的に行う伐採・造林一貫作業システムの実施により、地拵えコストの縮減や、下刈り回数の縮減を図るなど造林・保育の低コスト化を進めています。

伐採・造林一貫作業システムによるコスト縮減



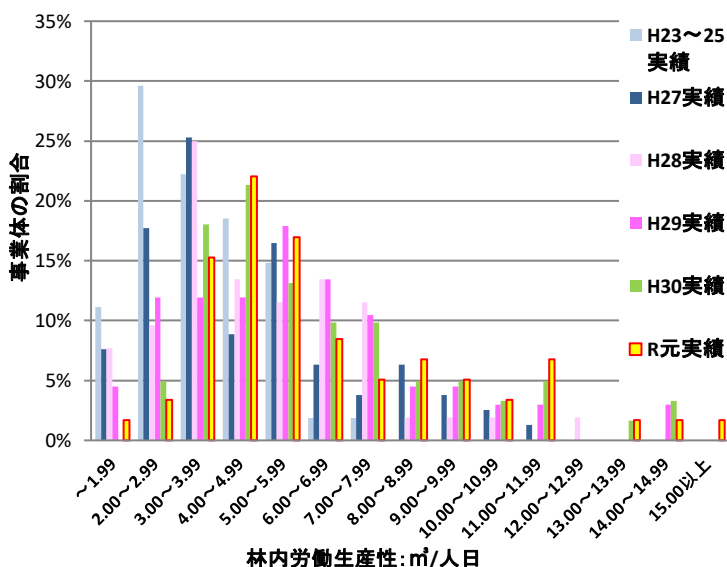
◇生産性向上実現プログラムの取組◇

木材需要の拡大に伴う安定的・効率的な素材の生産体制を確立するため、素材生産事業者、民有林行政担当者、有識者の方々と連携して生産性向上に取り組んでいます。

- ・現地検討会
- ・作業工程毎の生産性や進捗状況の把握を容易にする日報様式の作成
- ・優良事業地の公表
- ・素材生産事業者等が行う勉強会や発表会の支援



中部局の事業者の林内労働生産性の推移(間伐)



間伐の生産性が4.0m³/人日以上の実績の割合が4割(H23~H25平均)から8割(R元)に増加しました。

※ 間伐の生産性の全国平均は4.17m³/人日(H30)

(2) 木材の安定供給とブランド材の推進

水源の涵養^{かん}や自然環境の保全などに十分配慮しながら森林整備を行い、生産される木材の持続的かつ計画的な供給に努めています。

◇安定供給システムによる木材の販売◇



国有林材の安定供給システム販売は、需要者と事前に安定供給の協定を締結し、丸太等を直接安定的に供給する販売方法です。地域の林業・木材産業の活性化や新たな需要開拓に貢献できるよう推進しています。

工場での加工

合板

◇高品質ブランド材の需要拡大◇

管内には高齢級の良質な人工林(ヒノキ、カラマツ等)が生育しており、良質な大径材を厳選し、ブランド材として供給しています。

令和2年度から新たに、需要者からの特殊採材要望について、委託問屋を経由しての情報収集ルートの開設に取り組みます。



長野県の「信州プレミアムカラマツ」



木曽、東濃の「(高)国木曽ひのき」



愛知県の「段戸SAN」

近年、和室が減少する中で、デザイン開発によって用途の多様性を高め、新たな需要開発を進めるために「ブランド材を用いたデザインコンペ」を実施しています。

優秀な作品は実際に制作し、庁舎内で使用(展示)しています。



令和元年度 デザインコンペ優秀作品

◇特殊な用途への林産物の安定供給◇

管内には日本を代表する木曽ヒノキなどの多様な森林資源があり、国有林ならではの長尺材などを文化財の修復や伝統工芸などの資材として、木の文化を守るために供給しています。



大嘗宮への良質皮付きカラマツ丸太の供給



文化財への天然木曽ヒノキの供給



屋根葺き材として利用される天然サワラ

(3) 民有林と連携した取組

◇民有林と連携した事業の推進◇

民有林との森林整備推進協定を締結し、国有林と民有地を接続する効率的な路網の整備や木材の協調出荷など、施業集約に向け取り組んでいます。



国有林を通過する林道を作設することで、民有林での施業が可能となったケース(岐阜署)

《森林整備推進協定の締結状況》: 14件



中間土場を活用したシステム販売(木曾署)

◇民有林への技術の普及◇

多様な森林づくりの取組や、木材生産と造林の低コスト化等の取組の成果については、現地検討会や森林技術交流発表会の開催等により、民有林の関係者に普及を図っています。



多様な森林づくり現地検討会(東信署)



伐採・造林一貫作業現地検討会(愛知所)



中部森林技術交流発表会(中部局)

国有林のフィールドや技術力を活用し、森林・林業行政を支援する森林総合監理士(フォレスター)等の育成・支援を推進するとともに、大学等と連携し、将来の森林・林業技術者の育成に向けた取組も実施します。



森林総合監理士等連携会議(木曾署)



技術者育成研修の様子(森林技術・支援センター)



ニホンジカ害害防除対策検討会(岐阜署)

◇「森林経営管理制度」の推進◇

令和元年度より開始した「森林経営管理制度」の推進に向け、市町村で活躍できる意欲と能力のある林業経営者への伐採等の委託に係る配慮、経営管理に資する技術の普及や自治体への助言等に取り組みます。

3 「国民の森林」としての管理経営

(1) 双方向の情報受発信

国民の方々との双方向の情報等の受発信により、透明性の高い国有林野の管理経営を進めます。

◇国有林の森林計画の策定◇

森林計画の策定にあたり、国有林の森林資源や整備状況、利活用等に関する情報を広く提供するとともに、地域の方々との現地見学会の開催、ホームページ等による意見募集を実施し、幅広い情報や要請を森林計画に反映させるよう取り組んでいます。



(北信署)



(飛騨署)

森林計画策定に向けた地域住民との現地見学会の様子

◇国有林モニター◇

一般公募により選定した「国有林モニター」を対象に、国有林の取組などに対するアンケート調査、現地視察会及びモニター会議を実施し、国有林モニターの方々の意見を管理経営に活かす取組を実施しています。



国有林モニター会議(中部局)



国有林モニター現地視察(愛知所)

(2) 森林環境教育の推進

森林づくり活動に取り組むNPO等民間団体が行う自立的な活動への支援や、地域との連携による森林環境教育などの普及啓発活動を行っています。



小学生の間伐体験
(南信署)



高校生の林業就業促進学習
(岐阜署)



教職員を対象とした研修会
(木曾森林ふれあい推進センター)

(3) 国民参加の森林づくり

NPO等民間団体、学校や企業等との協定締結により、森林整備・保全活動や環境教育等の場として国有林のフィールド提供や活動の支援により、国民参加の森林づくりを推進しています。

「ふれあいの森」



太樹の森・赤沢(木曽署)

設定数
9

植林や保育など森林整備活動に参加したいというボランティア団体等による、自主的な森林づくり活動のためのフィールド。

「遊々の森」



多摩市民の森・フレンドツリー(南信署)

設定数
13

学校などの教育機関が、さまざまな体験活動や学習活動を行うためのフィールド。
森林の利用を通じた子どもたちの人格形成や、幅広い知識の習得を行う森林環境教育の場として利用いただけます。

「木の文化を支える森」

歴史的な木造建築物や伝統工芸などの「木の文化」を後世に継承していくための森林づくり活動を行うためのフィールド。地方公共団体などで構成される地域の協議会による植樹祭や下草刈などの活動が行われています。

設定数
8



御柱の森(南信署)

「社会貢献の森」



風とせせらぎの森林(富山署)

設定数
4

地球温暖化防止など地球環境保全への関心が高まっている中、企業の社会的責任(CSR)活動などを目的とした森林整備活動のためのフィールド。

「多様な活動の森」



城山史跡の森(木曽署)

設定数
12

歩道の草刈、自然観察、美化活動、森林パトロールなどの森林の保全活動を行うためのフィールド。

記念分収造林は歴史的行事等を記念するために特別な条件(国2:造林者8の分収割合)を定めて契約するもので、環境保全や地域振興等に取り組む企業を支援し、国民参加の森林づくりの促進を図ることとしています。

令和元年度 天皇陛下御即位記念分収造林【2件契約】



天皇陛下御即位記念分収造林調印式(局)

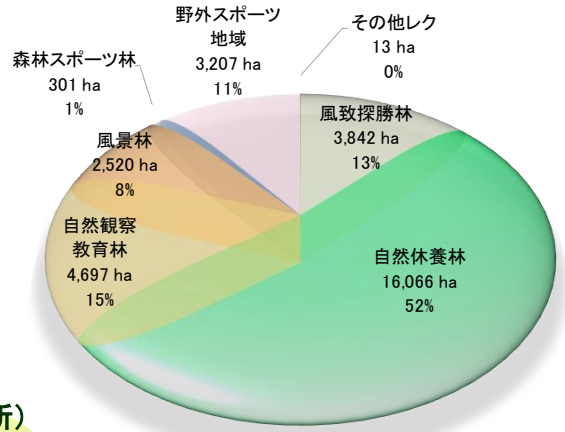


天皇陛下御即位
記念分収造林 契約地
(東信署)

立科国有林(佐久市)
契約面積: 4.04ha
植栽予定樹種: カラマツ
契約期間: 60年間

(4) レクリエーションの森

レクリエーションの森の設定状況



国有林では国土保全や自然保護との調和を図りつつ、自然観察や森林浴、野外活動などに広く利用されることを目的として、「レクリエーションの森」を設定しています。

地元市町村をはじめ地域関係者の方々が連携し、登山や観光スポット、スポーツの場として国有林の多様な森林環境が活用されています。

自然休養林 (11箇所)

特に景観に優れ、保健休養に適した森林で、自然探勝や散策、キャンプなど複合的なレクリエーションを楽しむことができます。



戸隠・大峰自然休養林
(長野県長野市)

自然観察教育林 (16箇所)

自然の変化に富み、小中学生の自然観察学習に適した森林で、野生動植物の観察や森林のはたらきなどを学ぶことができます。



間苧溪谷自然観察教育林
(愛知県岡崎市)

レクリエーションの森 設定面積
30,645ha (R2年4月1日現在)

※ 小数点以下四捨五入により合計が合わない場合があります。

野外スポーツ地域 (16箇所)

スキー場や附属施設が一体となった地域で、雄大な自然の中で爽やかな汗を流すことができます。



野沢温泉野外スポーツ地域
(長野県野沢温泉村)

風致探勝林 (30箇所)

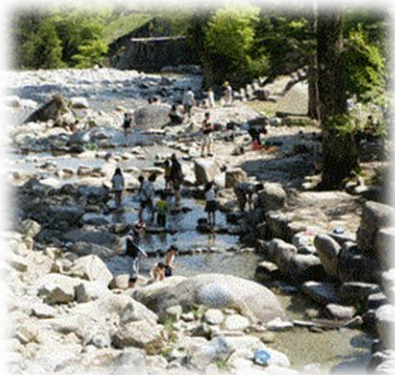
湖沼、渓谷などと一体となり、潤いある自然景観を構成している地域で、様々な樹木や自然美を楽しむことができます。



美女平風致探勝林
(富山県立山町)

森林スポーツ林 (4箇所)

森林とのふれあいやアウトドアスポーツに適した森林で、キャンプやサイクリングなどで自然を体感できます。



夕森森林スポーツ林
(岐阜県中津川市)

風景林 (10箇所)

名所、旧跡などと一体となって景勝地を形成している森林で、森林の雄大な景観と地域の歴史を感じることができます。



ビーナスライン風景林
(長野県小県郡一松本市)

◇日本^{うつく}美しの森～お薦め国有林～◇

レクリエーションの森の中で、特に魅力的で観光資源としての活用が期待される箇所が、「日本美しの森」として平成29年4月に全国で93箇所の国有林が選定されました。中部森林管理局管内では10箇所が選定されています。

赤沢自然休養林

所在地：長野県木曾郡上松町



樹齢300年を超える木曾ヒノキの森を満喫できる散策コースを8つも備える「森林浴」発祥の地。大正から昭和に活躍した森林鉄道に乗車することができ、清流からの爽やかな風が心地いい。

湯の丸・高峰自然休養林

所在地：長野県上田市／東御市／小諸市

滝越森林スポーツ林

所在地：長野県木曾郡王滝村

くらがり

閻苜風致探勝林

所在地：愛知県岡崎市



夏場は、キャンプにバーベキュー、川遊びの家族連れで賑わう。渓谷沿いには不動の滝、さるとび岩など「くらがり八景」と呼ばれる景勝地が散策できる。

戸隠・大峰自然休養林

所在地：長野県長野市／上水内郡信濃町

柵池湿原風致探勝林

所在地：長野県北安曇郡小谷村／白馬村

駒ヶ岳風致探勝林

所在地：長野県駒ヶ根市／上伊那郡宮田村

御岳自然休養林

所在地：岐阜県下呂市／高山市



冬はスキー、初夏から秋には散策や滝巡りで人気のスポット。高地トレーニング施設を擁し、御嶽山7合目に位置する濁河温泉は、茶褐色の温泉が湧く高所温泉地として知られる。

飛騨白山白川郷自然休養林

所在地：岐阜県大野郡白川村

金華山自然観察教育林

所在地：岐阜県岐阜市

◇国有林おさんぽMAP～Chubu National Forest Footpaths 44～◇

中高年の方々をはじめとする国民の皆様に、国有林のフィールドを「おさんぽを通した心身の健康づくり」に活用いただくことを目的に、「国有林おさんぽMAP」を作成しました。

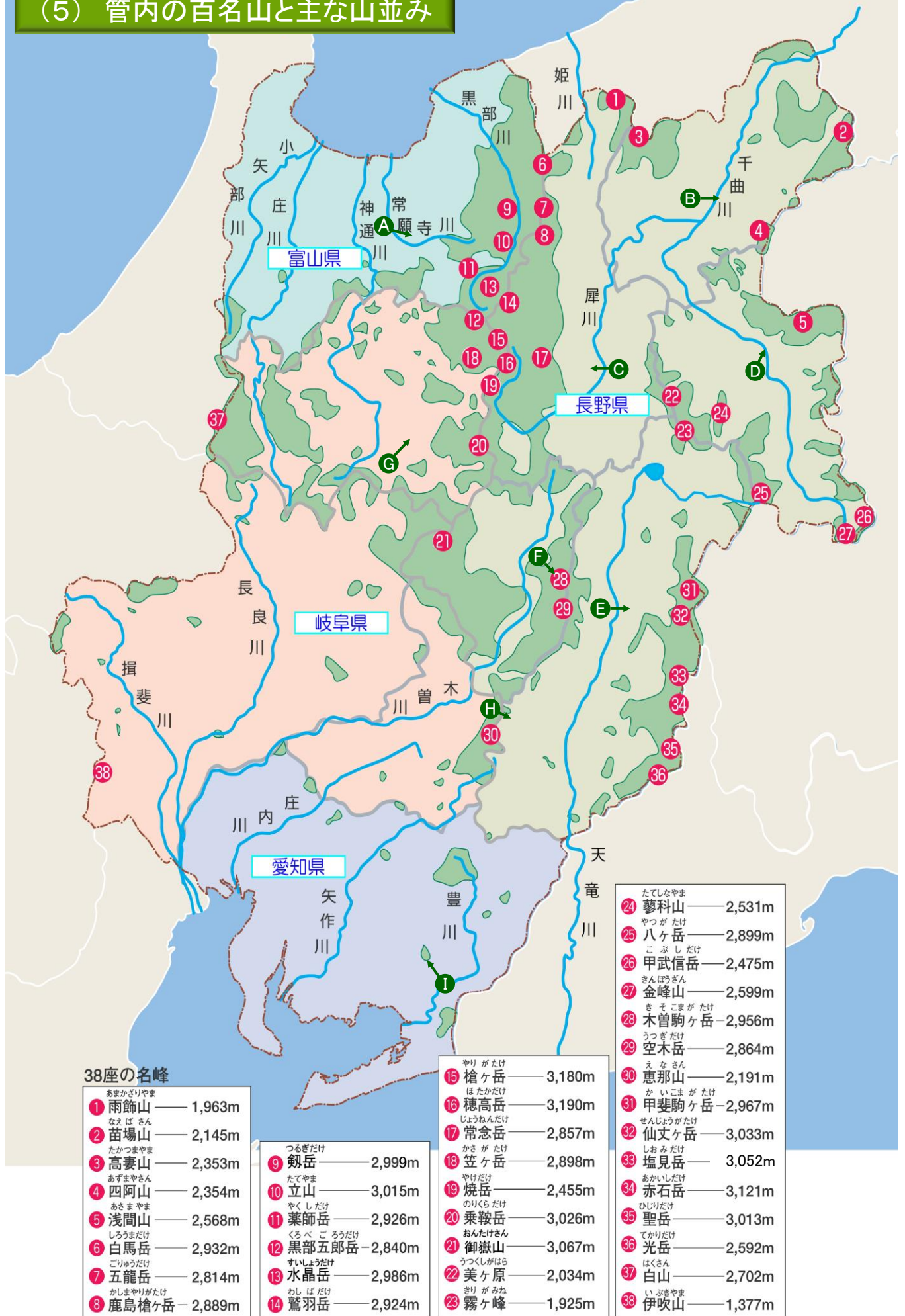
森林の中で過ごすことでストレスホルモンが減少し、リラックス効果が期待できるほか、歩き方を工夫することにより骨粗鬆症、認知症予防の効果も期待できるといった情報も掲載し、44ルートとあわせてホームページで紹介しています。

おさんぽMAP ↓
(WEBのURL)
<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/welcome/invitation/sanpo-map.html>



国有林ならではの環境や森林フィールドを活かして、幅広い年代の方に、四季を通じ気軽に自然とふれあえる機会の情報発信に努めています。

(5) 管内の百名山と主な山並み



38座の名峰

- 1 雨飾山 — 1,963m
- 2 苗場山 — 2,145m
- 3 高妻山 — 2,353m
- 4 四阿山 — 2,354m
- 5 浅間山 — 2,568m
- 6 白馬岳 — 2,932m
- 7 五龍岳 — 2,814m
- 8 鹿島槍ヶ岳 — 2,889m

- 9 剣岳 — 2,999m
- 10 立山 — 3,015m
- 11 薬師岳 — 2,926m
- 12 黒部五郎岳 — 2,840m
- 13 水晶岳 — 2,986m
- 14 鷲羽岳 — 2,924m

- 15 槍ヶ岳 — 3,180m
- 16 穂高岳 — 3,190m
- 17 常念岳 — 2,857m
- 18 笠ヶ岳 — 2,898m
- 19 焼岳 — 2,455m
- 20 乗鞍岳 — 3,026m
- 21 御嶽山 — 3,067m
- 22 美ヶ原 — 2,034m
- 23 霧ヶ峰 — 1,925m

- 24 蓼科山 — 2,531m
- 25 八ヶ岳 — 2,899m
- 26 甲武信岳 — 2,475m
- 27 金峰山 — 2,599m
- 28 木曽駒ヶ岳 — 2,956m
- 29 空木岳 — 2,864m
- 30 恵那山 — 2,191m
- 31 甲斐駒ヶ岳 — 2,967m
- 32 仙丈ヶ岳 — 3,033m
- 33 塩見岳 — 3,052m
- 34 赤石岳 — 3,121m
- 35 聖岳 — 3,013m
- 36 光岳 — 2,592m
- 37 白山 — 2,702m
- 38 伊吹山 — 1,377m

A~I : 山並みの撮影ポイント及び撮影方向



大日岳
(2,501m)

雄山
(3,003m)

鬼岳
(2,750m)

獅子岳
(2,714m)

鷲岳
(2,625m)

鷲山
(2,617m)

鍬崎山
(2,089m)

Ⓐ 常願寺川上滝公園より南東方向(富山署)



竜王山
(1,930m)

焼額山
(2,009m)

裏岩菅山
(2,341m)

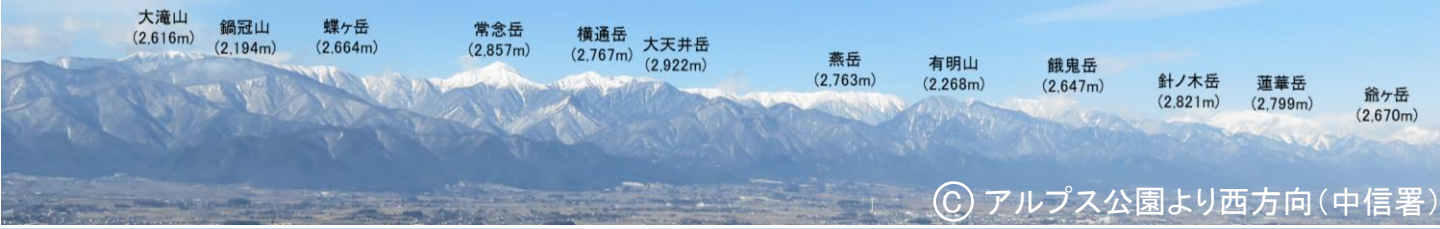
岩菅山
(2,295m)

坊寺山
(1,840m)

剣ノ峰
(1,884m)

笠ヶ岳
(2,076m)

Ⓑ 中部局庁舎より東方向(局)



大滝山
(2,616m)

鍋冠山
(2,194m)

蝶ヶ岳
(2,664m)

常念岳
(2,857m)

横通岳
(2,767m)

大天井岳
(2,922m)

燕岳
(2,763m)

有明山
(2,268m)

餓鬼岳
(2,647m)

針ノ木岳
(2,821m)

蓮華岳
(2,799m)

爺ヶ岳
(2,670m)

Ⓒ アルプス公園より西方向(中信署)



烏帽子岳
(2,066m)

湯ノ丸山
(2,101m)

三方ヶ峰
(2,040m)

箆ノ登山
(2,227m)

高峯山
(2,106m)

車坂峠

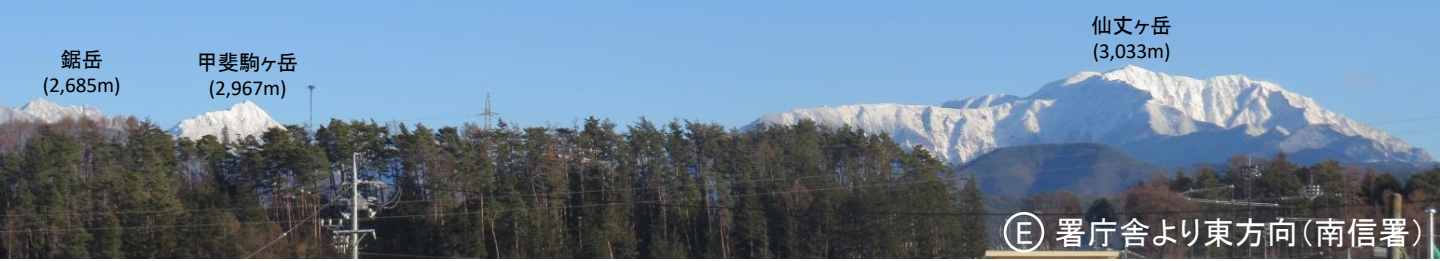
黒斑山
(2,404m)

剣ヶ峰
(2,281m)

浅間山
(2,568m)

石尊山
(1,667m)

Ⓓ 道の駅ほっとぱーく浅科より北東方向(東信署)



鋸岳
(2,685m)

甲斐駒ヶ岳
(2,967m)

仙丈ヶ岳
(3,033m)

Ⓔ 署庁舎より東方向(南信署)



大棚入山
(2,375m)

茶臼山
(2,652m)

木曾駒ヶ岳
(2,956m)

麦草山
(2,721m)

Ⓕ 道の駅日義木曾駒高原より南東方向(木曾署)



笠ヶ岳
(2,898m)

瀧沢岳 奥穂高岳
(3,103m) (3,190m)

焼岳
(2,455m)

恵比寿岳
(2,829m)

剣ヶ峰
(3,025m)

Ⓖ 飛騨署庁舎より北東方向(飛騨署)



富士見台高原
(1,739m)

恵那山
(2,191m)

本宮山
(789m)

Ⓖ 馬籠宿より南東方向(東濃署)

Ⓖ 桜淵公園より北西方向(愛知所)

「中部地方の山並み」(Ⓐ~⒱の23箇所(29方向)網羅版)はこちら



(6) 管内の巨木



① 森太郎
(北信署:ブナ)



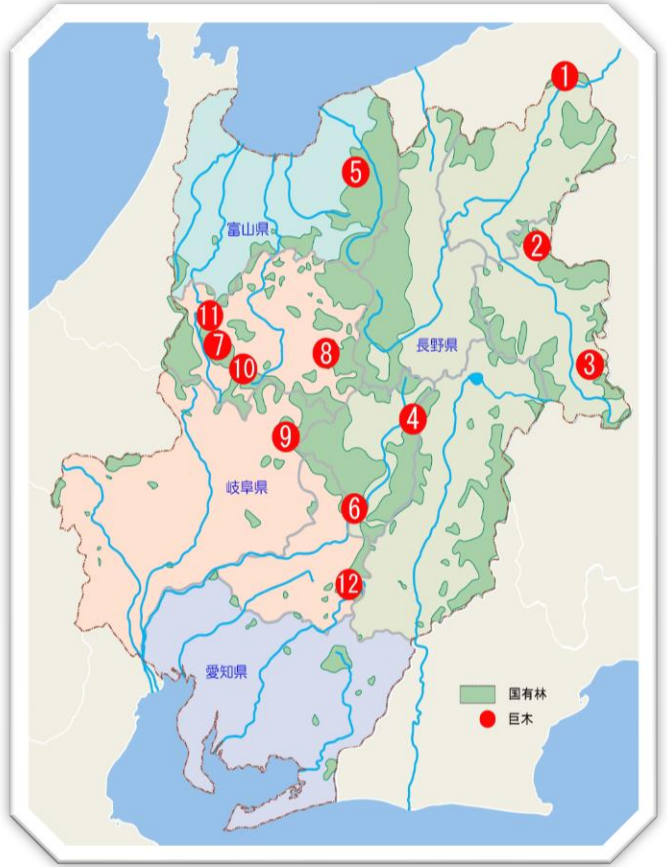
② 弘法大師のさかさ杖
(東信署:シナノキ)



③ 茂来山のコブ太郎
(東信署:トチノキ)



④ ジャンボカラマツ
(中信署:カラマツ)



⑤ ブナ平立山のスギ
(富山署:スギ)



⑥ 神坂大檜
(東濃署:ヒノキ)



⑦ 宮の大イチイ
(飛騨署:イチイ)



⑧ 平湯の大ネズコ
(飛騨署:ネズコ)



⑨ 天保の大ヒノキ
(岐阜署:ヒノキ)



⑩ 荘川のヒメコマツ
(飛騨署:ヒメコマツ)



⑪ 荘川のヒノキ
(飛騨署:ヒノキ)



⑫ 笠木
(東濃署:ヒノキ)

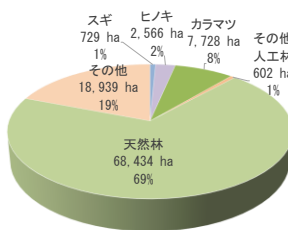
長野県の国有林

面積: 366,601ha

中部山岳森林計画区

雄大なアルプスを背景とした四季は美しく、上高地、乗鞍高原、美ヶ原高原など観光資源が豊かである一方、糸魚川-静岡構造線などの断層があり治山事業による国土保全が求められる地域です。

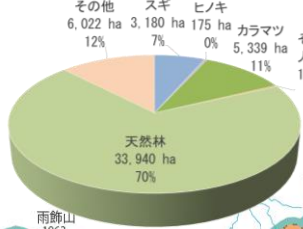
合計98,999ha



大正池から穂高岳を望む

千曲川下流森林計画区

合計48,818ha



日本有数の豪雪地帯で、ブナなどの天然林が多く、志賀高原、戸隠高原、カヤの平などのスキー場やキャンプ場など、森林レクリエーションの場に恵まれた地域です。



カヤノ平自然休養林のブナ林

千曲川上流森林計画区

信州カラマツの里として集成材など木材加工が発達した地域であるとともに、浅間山麓、菅平、北白樺などの高原地帯はリゾート地が形成されています。

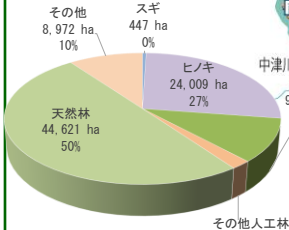


湯ノ丸高原のカラマツ林

木曽谷森林計画区

古来より文化財などの建造物材料として使用された木曽ヒノキの里として、また、木工芸品などにより木の文化を引き継いできた地域です。木曽ヒノキとふれあえる観光地として、赤沢自然休養林などがあります。

合計89,442ha



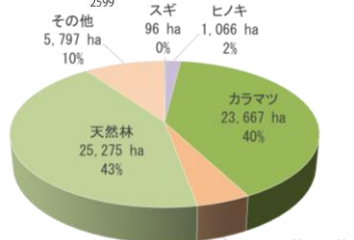
木曽ヒノキ

伊那谷森林計画区

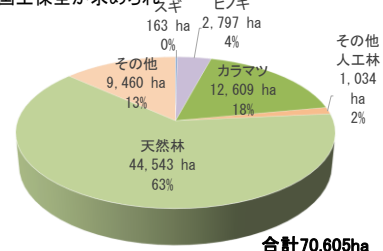
伊那谷森林計画区

南・中央アルプ스에 囲まれたこの地域は諏訪湖を源とした天竜川が南下し、その風景は美しさと山岳地帯の荒々しさを併せ持っています。また、南北に中央構造線が走ることから、治山事業による国土保全が求められています。

合計58,741ha



中央アルプス駒ヶ岳

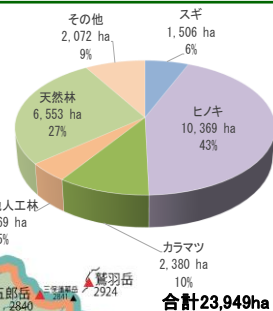


合計70,805ha

岐阜県の国有林 面積: 173,674ha

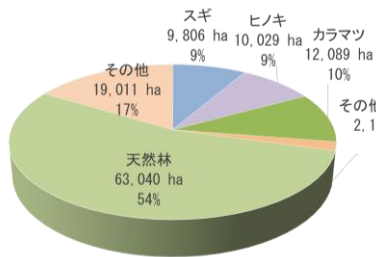
飛騨川森林計画区

東濃ヒノキに代表される木材の主要な生産地であり、また、中京圏の水源地である木曾川に通じる飛騨川上流域は北アルプス南端にあり、自然景観に恵まれた地域です。



宮・庄川森林計画区

庄川、宮川、高原川の源流域である白山山系、飛騨山系は優れた自然環境を有し、国有林も森林レクリエーションの場として利用されています。



白川郷の合掌造り集落



赤沼田天保林ヒノキ



能郷谷流域



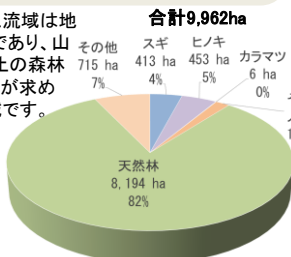
長良橋と金華山



高樽の滝

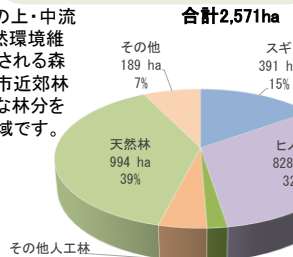
揖斐川森林計画区

揖斐川上流域は地形が急峻であり、山地災害防止の森林整備・保全が求められる地域です。



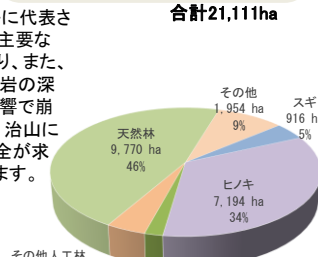
長良川森林計画区

長良川の上・中流域で、自然環境維持が期待される森林から都市近郊林まで多様な林分を有する地域です。



木曾川森林計画区

東濃ヒノキに代表される木材の主要な生産地であり、また、断層や花崗岩の深層風化の影響で崩壊地が多く、治山による国土保全が求められています。

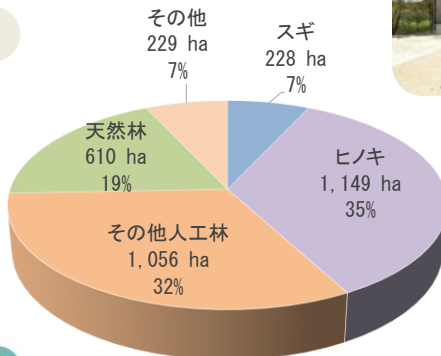


愛知県の国有林

面積: 10,907ha

尾張西三河森林計画区

大都市を形成する木曾川・庄内川下流の平野部に位置し、都市近郊林としての活用が期待される国有林を有する地域です。



合計3,272ha



森林交流館



間刈風致探勝林

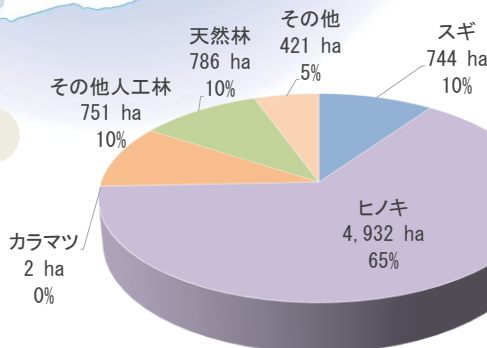


明治26年植栽ヒノキ人工林

東三河森林計画区

東三河地域の水源である豊川などの源流域の三河山地は、スギ、ヒノキを主体とする優良造林地が多くみられる地域です。

合計7,635ha



三河湾の漁師と学生による広葉樹の植付 (漁民の森林づくり活動)

私たち中部森林管理局の職員は もり 森林づくりと木づかいを未来へ紡いでいます





「わたしの美^{うつく}しの森 フォトコンテスト(令和元年度実施)」中部森林管理局長賞
 作品名: 三宝山^{さんぼうざん}からの富士
 撮影場所: 長野県南佐久郡川上村
 撮影者: 大黒 俊明 氏



国民の森林・国有林

林野庁 中部森林管理局

お問い合わせ先

〒380-8575 長野県長野市大字栗田715番地5
 TEL 050-3160-6507 FAX 026-236-2657 (企画調整課)
<http://www.rinya.maff.go.jp./chubu/>

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市熱田区熱田西町1-20	050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市臼田1822	050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曾森林管理署	〒399-5604	長野県木曾郡上松町正島町1-4-1	050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
南木曾支署	〒399-5301	長野県木曾郡南木曾町読書3650-2	050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曾森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曾郡木曾町福島1250-7	0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	050-3610-6075	FAX 0265-22-0149

(令和2年4月21日発行)

(令和2年6月15日 (P14) 一部修正)

(令和2年8月6日 (P15) 一部修正)